

神学部 神学科

ディプロマ・ポリシー

1. 卒業要件

〔神学コース〕

以下の修得する能力を身に付け、専攻科目から 60 単位以上、専攻科目及び関連科目から 22 単位以上及び共通科目から 46 単位以上、合計 128 単位以上を修得し、本学学則に定める在学期間を満たす者へ学士（神学）の学位を授与する。

〔キリスト教人文学コース〕

以下の修得する能力を身に付け、専攻科目から 44 単位以上、専攻科目及び関連科目から 38 単位以上及び共通科目から 46 単位以上、合計 128 単位以上を修得し、本学学則に定める在学期間を満たす者へ学士（神学）の学位を授与する。

2. 修得する能力（両コースとも）

- (1) キリスト教精神の本質を究明し、それを実践することができる。
- (2) 日本、そして世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献することができる。
- (3) キリスト教界の指導者、教会の伝道者・牧師などの専門職業人として社会に貢献することができる。
- (4) キリスト教精神を基盤としたリーダーシップと真摯な探究心で社会に貢献することができる。

3. 卒業後の進路

〔神学コース〕

日本バプテスト連盟内の教役者を志望する者は、学部卒業後、更に神学専攻科や大学院神学研究科に進学することが期待される。

〔キリスト教人文学コース〕

出版・新聞・放送等の文化機関、教職・社会福祉・図書館・博物館等及び神学・思想哲学系大学院進学等が期待される。

カリキュラム・ポリシー

1. 体系（構成）

- (1) 神学コースとキリスト教人文学コースの 2 コース制となっている。
- (2) 神学科の授業科目は、専攻科目・関連科目・共通科目から構成されている。
 - ①専攻科目では、専門分野を深く学ぶ。

②関連科目では、専門分野の視野を広げるために、専門分野に関連した科目を学ぶ。

③共通科目では、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育てるために、キリスト教学、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツ科学及び外国語を学ぶ。

- (3) 神学は、聖書における神の啓示を根本的前提としてなされる学問であり、教会的基盤に立つ、いわば教会の学、信仰の学であって、啓示や福音の本質の究明をその目的とする。
- (4) 神学コースでは、キリスト教界で奉仕する人を養成することを目的として、神学の研鑽を積んでいく。特に、専攻選択科目の履修では、聖書学部門・歴史神学部門・組織神学部門・実践神学部門の各部門からバランスの取れた単位修得が期待される。
- (5) キリスト教人文学コースは、神学をも含み、キリスト教との関連において、哲学・思想・歴史・文学・芸術等を研究する分野である。具体的には聖書学・キリスト教歴史・キリスト教神学の部門を土台として、オリエント学・西洋古典学・キリスト教文学・音楽・美術等、更には総合的な人間学を学び、幅広くキリスト教を基礎とした人文学を学修することを目的とする。

2. 特色

- (1) 基礎的な現代語学（英語、ドイツ語）、古典語学（ギリシア語、ヘブライ語、ラテン語）を学修する。
- (2) 少人数による専門的な内容の教育を行う。
- (3) 古典教育を柱にした人格の陶冶を目指す。
- (4) 幅広い教養を培う教育を行う。
- (5) 実践的な課題を射程に置いた倫理的な教育を行う。
- (6) 卒業・修了論文を目標に置き、多様な学生が自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる、本人の実力を育てる教育を行う。

3. 具体的な教育内容

〔専門基本科目〕

キリスト教神学の4つの部門である聖書学、歴史神学、組織神学、実践神学の基礎を学び、キリスト教精神に基づく幅広い教養を身に付けることを目標とする。1年次はキリスト教神学全般、旧約聖書学、歴史神学の基礎を、2年次以降は新約聖書学、組織神学、実践神学の基礎を学ぶ。

〔古典語学・外書講読科目〕

神学を学ぶ上で不可欠なツールである古典語学（旧約聖書ヘブライ語、新約聖書ギリシア語、歴史神学のためのラテン語）、基礎的な現代語学（英語、ドイツ語）に習熟することを目標とする。1・2年次は上欄「専門基本」の履修順に対応した語学が配置されている。2年次以上の「外書講読」では欧米の神学書を読破する。

〔聖書学科目〕

福音の優れた解釈者・説教者となるために聖書の学びに精通することを目標とする。2年次で聖書テキストを読解し使信を明らかにする「釈義」を、3年次で聖書各文書の多様性を明らかにしつつその中心的使信を探求する「神学」を、4年次では独力で原典を解釈し、翻訳する「原典」を学ぶ。

〔歴史神学科目〕

歴史における信仰・神学の諸問題に精通し、今日の諸問題と切り結ぶことを目標とする。2年次で「教会史」、「日本キリスト教史」を、3年次でキリスト教神学の歴史を形作ってきた代表的神学者とその思想を「教理史」から、神学コース生は自教派のアイデンティティと課題についての理解を「バプテスト史」から学ぶ。

〔組織神学科目〕

日本そして世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献する人となるためにキリスト教精神を身に付けることを目標とする。2年次でキリスト教会の宣教の学問的自己吟味たる「教義学」を学び、福音の本質に対する理解を深める。3年次で実践的な課題を射程に置いた倫理学等の諸科目を学ぶ。

〔実践神学科目〕

教会の基本的な働きである伝道・礼拝・宣教・牧会などを学び、平和・人権の課題に取り組み、社会に貢献できるキリスト教界の指導者、教会の伝道者・牧師等の専門職業人となるための技術を身に付けることを目標とする。2年次でキリスト教教育学を学び、3年次で魂の配慮に知恵と愛をもって当たる牧会者・教育者となるための諸科目を学ぶ。

〔キリスト教人文科学科目〕

諸学、特に人文学の諸領域の諸科学と対話しながら、人間と世界を正しく理解する力を身に付けることを目標とする。2年次では幅広い教養を身に付けるためにキリスト教思想・哲学・芸術を中心として学び、3年次ではキリスト教信仰の普遍性を踏まえ、国際感覚豊かな、社会奉仕の精神を持つ人となるための諸科目を学ぶ。

〔特殊科目〕

卒業論文に向けて少人数による専門的な内容の教育を行い、学習スキルを上げることが目標とする。3年次から「特殊講義」「演習」により、主体的自覚的な課題抽出力を磨き、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を鍛える。4年次の「卒業論文」は神学部における学修の集大成の場である。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

神学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 神学コースは、キリスト教界における指導的な役割（伝道者・牧師、宣教師、教会主事など）を明確な目標に置く者。

- (2) キリスト教人文学コースは、幅広い教養を身に付け、社会奉仕の精神を持つことを目指す者。
- (3) 両コースに共通のこととして、基礎的な学力を有し、歴史的、人文・社会的、国際的な文化への関心のある者。

2. 選抜方法

神学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜（一般入試、英語 4 技能利用型一般入試）

高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。

- (2) 特別選抜（総合型選抜入試、指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試、国際バカロレア A0 入試）

総合型選抜入試では、小論文と面接を課し、出願時の学修計画書等を含めて、受験者の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協調性を総合的に判定する。

推薦入試では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、神学部独自の指定先として、キリスト教学校教育同盟加盟高校及び日本バプテスト連盟加盟教会から、神学部での学びに強い意欲と理解をもった者の推薦を受け入れる。推薦入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

国際バカロレア A0 入試では、受験者に面接を課し、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

- (3) その他の選抜（外国人入試、帰国生入試）

多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。